

# 全員協議会を開催しました（12月15日）

過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会の中間報告と、地方議会議員の厚生年金への加入について話し合いました。

## 1 調査特別委員会の中間報告について

過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会（以下調査特別委員会と記す）からの調査中間報告が全員協議会で行われました。「高梁市議会だより第32号」でもお伝えしたとおり、調査特別委員会では

- ① 工事関係資料の再確認
  - ② 職員の関与
  - ③ 発生原因の究明
  - ④ 再発防止策
- にポイントを置いて調査を進めています。

今回の全員協議会までに12回の委員会を開催しており、節目を迎えたことから中間報告が行われました。報告では、9名

の委員全員で精査したところ、資料やその計数面

が大きく逸脱する事はなかったとの説明がありました。しかし、書類等に日付が的確に記載されていないことから事後検証に困難をきたしていることや、コンプライアンスに係る問題があること、また、早急な管理体制の厳格化、業務フローの改善が望まれることなどが指摘されました。その上で、中間報告としては、今後いっそう議論を深めていかなければならないと締めくくっています。

これに対して、議員からは、秘密会とされた理由について質問がありました。委員長からの答弁は、特別委員会は議会の

## 2 地方議会議員の厚生年金加入について

議決に基づいて設置されたものであり、特別委員会として個人情報保護の観点から秘密会にするという議決を経ているというものでした。

また、他の議員から工事担当者一人一人から聞き取りをしたのかとの質問があり、委員長からは、職員による説明と関係書類等によって工事の有無や内容は把握できたとの答弁がありました。

これは、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみ取り、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている一方で、住民の関心が低い現状や、地方議会議員のなり手不足は深刻な問題となっています。

このため、全国市議会議長会が地方議会議員の厚生年金への加入に関して国に要望をすることとなり、その一環として高梁市議会にも意見書提出の依頼がありました。

係がないとの意見、また、自営業者は国民年金で地方議会議員が厚生年金加入では不公平であるとの意見が寄せられました。

また、生活基盤の安定があつて初めて議員の仕事にも打ち込むことができる、特に若者や子育て世代には必要ではないかとの意見や、本市だけではなく全国的な視点で考えるべきであるとの意見もありました。

今回の意見交換を踏まえて、議会運営委員会で再度議論を行うことになっていきます。

**Q.** ブドウ栽培に必要不可欠で費用的に高額なブドウ棚の設置費補助金を拡充できないか  
**A.** 条件によっては、補助率を3分の2まで引き上げている



平松 賢司

ここを聞きました  
●農業振興について  
●ごみの個別収集の実施について

### 農業振興について

**平松** ブドウの栽培を行っている農家数と栽培面積は平成23年と比べ、どうなっているのか。

**産業経済部長** 現在は426戸、105.2ヘクタールで、戸数が若干減少している。

**平松** 栽培に必要なブドウ棚は1反当たり200万円と高額で、内訳は資材費が3分の2で残りが工事費である。現在、補助は資材費の2分の1であるが、全体の2分の1に拡充できないか。

**産業経済部長** 地域特産作物生産団地育成事業費補助金の補助率は2分の1となっているが、5年先の経営計画を策定している認定農業者や認定新規就農者が栽培面積を拡大する場合、補助率を3分の

2まで引き上げて支援している。

### ごみの個別収集の実施について

**平松** ごみ出しが困難な世帯があるのを把握しているのか。

**市民生活部長** 町内会支援制度の取り組みで、55町内会がごみ出しに困っているとあり、内10町内会が支え合い奨励金事業で、ごみ出しを行うとあつた。

**平松** ごみ出し困難で町内会の支援もできない場合、市は個別収集をすべきであると考えられるか。

**市民生活部長** 現在、1452カ所のごみステーションがあり、日を決めて収集している。町内会支援制度で全て対応できるとは考えていない。社会福祉協議会のちよこつとお助けサービスや介護保険関連の事業などと連携して対応していきたい。

**Q.** 同一敷地内の小学校と幼稚園については、廃園・休園要件を緩和できないか  
**A.** 一定規模以下になると教育的効果を考え、次の段階のステップを考えなくてはならない



伊藤 泰樹

ここを聞きました  
●市内中学校の部活動について  
●高梁市幼稚園、こども園、保育園、小・中学校の学用品、制服、体操服について  
●スクラム作戦について  
●高梁市立幼稚園と小学校のあり方について

### 中学校の部活動について

**伊藤** 文化系の部活動を希望する者のために全校対象の部活動はできないか。

**教育長** 指導者や交通手段などから難しい。部活動以外の文化系活動などで対応したい。

### 市立各園、小・中学校の学用品、制服、体操服について

**伊藤** 各園、小・中学校の制服や体操服、学用品を統一すれば保護者負担の軽減になるのではないか。

**健康福祉部長** 現在、5つの幼稚園が小学校と体操服を統一している。  
**教育長** コストが幾らか安くなると考えられるので、今後の状況を見ながら情報を集めたい。

### スクラム作戦について

**伊藤** スクラム作戦では要支援児の成長を保護者、学校園、療育機関、行政機関が、連携して取り組み成果が上がっている。これを子ども全員に広げたらどうか。

### 高梁市立幼稚園と小学校のあり方について

**伊藤** 幼稚園は園児が在籍していれば存続させるべきではないか。  
**健康福祉部長** 集団教育は社会性を養えることや、コミュニケーション能力が向上するなどのメリットがあり、一定の園児数が必要と考